
オ) デザインWG検討結果

1 事業の目的、内容

<事業の目的>

- 観光地伊勢に調和したEVについての統一的なデザインのあり方について検討することを目的としており、そのことによる効果として、以下のようなものを想定している。

- ・バスやタクシー、レンタカーなどに、伊勢市らしい統一的なデザインの装飾を施すことで、観光に訪れる方に、環境に配慮しているクリーンな町であるイメージを抱いて頂くとともに、住民にも親しまれるまちづくりを目指す。
- ・デザイン装飾を施している車両が、観光パッケージや災害対応など特定の目的に供する場合、車両に付随する施設や設備、看板などもデザインを施すことにより、分かりやすく利便性が高くなる効果も創出する。
- ・車両及び関連施設等に使用する統一デザインの作成方法について、世界中から募集を行い、伊勢市民が選定する方法を用いることにより、伊勢のPRにもつなげる。

<事業の内容>

- 伊勢市らしいデザイン、およびデザインを導入する対象を定めた上で、公募によってデザインを選定するものとする。それらを包含した形で公募要領案を作成し、官民の役割分担の元、公募を進めていく。

2 伊勢市らしいデザインについて(1)

<伊勢市全体の理念>

- 伊勢市役所において、伊勢市全体の理念を以下のように作成しており、その理念に基づいて伊勢市らしいデザインを検討していく必要がある。

<伊勢市都市マスタープラン(平成23年3月)【都市計画課】>

- 都市づくりの理念と目標: 生成り はじまりのまち・伊勢
- 将来都市像: 住む者を魅きつけ安心を約束する共生都市
- 都市づくりの目標: 個性きわだつ歴史文化を守り、継承する都市、豊かな自然風土と共存・共生する都市

<伊勢市観光振興計画(平成20年3月)【観光企画課】>

○観光理念

「日本人の心のふるさと」のまち、訪れる人々をあたたかく迎え、気持ち良くお帰りいただく「もてなし心」のまち、人、もの、文化や情報が交流する「集客交流」のまちとしての歴史であるといえます。また、この歴史を受け継いでいくことが伊勢のまちの伝統であり、この歴史と伝統は、伊勢の大きな魅力です。

<伊勢市地球温暖化防止実行計画(平成24年12月)【環境課】>

○めざす将来像

- ・公共交通機関や徒歩・自転車等により、快適に生活でき、また、伊勢市を訪れる人も、快適に市内を移動できる環境が実現しているまち
- ・電気自動車をはじめとするクリーン自動車が普及し、エコドライブが実践されているまち

2 伊勢市らしいデザインについて(2)

<伊勢市らしいデザインのコンセプト>

- 上記の伊勢市全体の理念を踏まえ、伊勢市らしいデザインのコンセプトとして、以下のようなものを検討している。
- このようなコンセプトをデザイナーに伝えた上で、伊勢市らしいデザインを作成していくものとする。

・伊勢市には清浄なる神宮があり、伊勢独特の歴史・文化、自然風土を有するなど、国内でも有数の環境の聖地であると多くの人から思われています。神宮は、20年ごとの式年遷宮で「常若」を保つと共に、古材の再利用と御用材の確保のために植林を行うなどの持続的な取組が千数百年も行なわれています。また、天照大神は太陽神であることから、『太陽光から電気を得て電気自動車が走る』というイメージが馴染むと考えられます。

・伊勢市は杜の中にまちがあり、自然と共に豊かに生きる暮らし方が息づいています。また、「生成り(きなり)」という考え方が根つき、自然のものを活かす取組が行われています。また、当たり前身近なことをコツコツと実施している伊勢の生活にみられる「堅実」「品性」「正直」などは日本人の心であり、地球を思う心へもつながっていると考えられます。

・伊勢は、自分を見つめなおすところであると共に、伊勢の人によるおもてなしにより、豊かさを感じられるところでもあることから、訪れた者にとって、「新たな気持ちが生まれる場所」となっています。

・伊勢市に住む多くの方は、伊勢は「古くて新しい」まちであり、「おかげさま」「もったいない」という人の心を持った「心のふるさと」と考えられています。

3 デザインを導入する対象について

- 平成25年については、大きく2つについて、デザインの公募を行う。

<汎用的なシンボルマーク>

汎用的なシンボルマークを平成25年度に広く募集し決定する。

タグラインをセットにする場合、タグラインのデザインはシンボルマークが決まった後にデザイナーに委ねる。

バスやEV等へのラッピングは、導入が決まってから中長期的な取組として募集の検討を行う。

<充電設備の誘導用看板(ピクトグラム)>

充電設備の誘導用看板(ピクトグラム)もシンボルマークと併せて平成25年度に募集し、決定する。

充電設備設置指針を作る場合は、その中にシンボルマークの導入についても記載し、普及を図る。



汎用的なシンボルマークと充電設備の誘導用看板(ピクトグラム)について、平成25年度に、協議会の活動を多くの方へ周知することと、ピクトグラムの普及のため、国内と海外へ、公募を行う。

4 公募要領案(1)

■ 以上の考え方を踏まえ、公募要領案については、以下の通りとする。

観光地伊勢に調和した電気自動車等へのロゴマークデザインコンペ 公募要領

<趣旨>

伊勢市において、多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、移動手段の新たな使い方として電気自動車等を活用し、取組を進めることで「地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、循環型のまち 伊勢」を創造することとし、電気自動車を活用した伊勢らしい様々な取組を「おかげさま Action」と位置づけています。

「電気自動車等を活用した低炭素社会に向けた取組（おかげさまAction）」

観光

展示

充電器の設置

防災

このたび、公用車・タクシー・レンタカー・バスなどの電気自動車車両や、充電器等の関連設備、案内標識、PR用ホームページのロゴマークなどにシンボルとなるデザインを施し、伊勢市における電気自動車や電気自動車を活用した取組（おかげさま Action）の方向性を統一するとともに、市民や来訪者への周知・案内や市外へのPRなどを行うため、デザインを公募により募集します。

デザインを検討するにあたりまして、以下の思いを踏まえた上で、デザインに反映していただきたいと考えています。

<デザインに反映していただきたい思い>

伊勢市には清浄なる神宮があり、伊勢独特の歴史・文化、自然風土を有するなど、国内でも有数の環境の聖地であると多くの人から思われています。神宮は、20年ごとの式年遷宮で「常若」を保つと共に、古材の再利用と御用材の確保のために植林を行うなどの持続的な取組が千数百年も行なわれています。また、天照大神は太陽神であることから、『太陽光から電気を得て電気自動車が走る』というイメージが馴染むと考えられます。

- ・ 伊勢市は杜の中にまちがあり、自然と共に豊かに生きる暮らし方が息づいています。また、「生成り（きなり）」という考え方が根つき、自然のものを活かす取組が行われています。また、当たり前身近なことをコツコツと実施している伊勢の生活にみられる「堅実」「品性」「正直」などは日本人の心であり、地球を思う心へもつながっていると考えられます。
- ・ 伊勢は、自分を見つめなおすところであると共に、伊勢の人によるおもてなしにより、豊かさを感じられるところでもあることから、訪れた者にとって、「新たな気持ちが生まれる場所」となっています。
- ・ 伊勢市に住む多くの方は、伊勢は「古くて新しい」まちであり、「おかげさま」「もったいない」という人の心を持った「心のふるさと」と考えられています。
- ・ 今回、「心のふるさと 伊勢」という理念のもと、電気自動車等を活用した観光・展示・防災など様々な取組（おかげさま Action）を形成する電気自動車の車両、設備、標識、PRロゴマークなどに統一して用いることができるデザインについて、上記の思いをイメージして提案を求めます。

「心のふるさと 伊勢」

まち ・「神宮」の存在（太陽神の天照大神、式年遷宮、清浄、古材の再利用、植林 等）
・ まちの中に森を有する豊かな自然風土

ひと ・ 自然のものをそのまま活かす「生成り（きなり）」の考え方を持つ市民
・ 訪れたことで、新たな気持ちが生まれる観光客

統一的なデザイン

電気自動車の車両、設備、標識、PRロゴマーク

4 公募要領案(2)

<デザインの活用方法>

伊勢市で取り組む電気自動車等を活用した様々な取組（おかげさまAction）において、公用車・タクシー・レンタカー・バスなどの電気自動車車両や、充電器等の関連設備、案内標識、PR用ホームページのロゴマークなどのシンボルとなるデザインとして活用します。

<事業スケジュール>

○応募受付

平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 () 必着

作品の選考過程において、追加資料のお願いやヒアリング等を行う場合があります。

○審査結果の発表

平成 年 月 旬 (予定)

三重県の公式WEB サイトで発表します。

結果に関するお問い合わせには応じられませんので、あらかじめご了承ください。

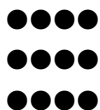
なお、採択された場合、当該作品の発表の場の提供やPR等を積極的に行う予定です。

<審査について（審査基準、審査委員）>

○主な審査基準

- ・ この事業の目的に沿った伊勢市の魅力発掘・発信度
- ・ 地域空間に映えるデザインのスタイリッシュ性
- ・ 実現へのリアリティ など

○審査委員



<応募方法等>

○応募資格

どなたでも応募可能です（個人・グループを問いません）

○採用予定作品数 1 点

○応募可能提案数

1 名・グループにつき 1 提案まで

提案は、応募者に全ての権利があるものに限りません。万一、第三者と紛争が生じた場合は、主催者は一切の責任を負いませんので、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。

○提出物

下記の内容を提出してください。

- ・ 所定の作品プラン
 - * デザイン、作品コンセプト（200 字程度）を必ず記載してください。
- ・ 経歴書・過去作品事例などの参考資料（提出は自由です）
- ・ 上記を電子データで記録したCD-ROM またはDVD-ROM
 - * PDF、JPEG、MS-WORD、MS-EXCEL、MS-PowerPoint いずれかの形式

○応募先・問い合わせ先

〒 宛

TEL

- * 応募受付は、郵送のみとします。
- * 電話問い合わせは、午前9 時30 分から午後6 時まで（土日・祝日は除く）。

5 デザインコンペの流れ(1)

■ デザインコンペの流れについて、以下のように検討された。

実施項目	実施主体	スケジュール(必要な期間)
デザインコンペの準備 ・ 審査委員の選定 ・ コンペ公募要領作成 ・ チラシの作成 等	どんなものを募集するかによって主体は変わる。 審査委員については、WGで決める（審査委員は、プロ（デザイナー）、地元（一般）、デザイン協会、ラッピングメーカーなどが考えられ、狙い撃ちでお願いする必要がある）。 公募要領・チラシの文案は事務局で作成し、チェックをWGで行う。	デザインする対象の決定と平行して準備を進める。
デザインコンペの周知 ・ チラシの送付 ・ HPによる広報 等	公募ガイドなどの媒体に載せる（10万円程度）。 また、駅などにポスターを貼る、建築雑誌などに掲載する、新聞記事を活用する。 伊勢にゆかりのあるタレントにも手伝ってもらう方法についても検討する（募集自体が宣伝になる）。 協議会参画者が主体となり協力して取組む。その他必要な方々へは協力を求める。	公募前の準備で2ヶ月間が必要。 募集期間も2ヶ月間必要（一定期間ないと良い作品は応募されない。伊勢市で目立つ内容の募集だと多数の応募が想定される）。

5 デザインコンペの流れ(2)

実施項目	実施主体	スケジュール(必要な期間)
デザインコンペの選定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査会の実施 ・ 審査委員への謝金等 	審査委員について、謝金は必要。 個人情報の関係で、事務局の存在は重要（理念などの質問など電話対応が必要と考えられる）。 HPの受付と紙の受付があり、作品は個人情報がかからないように保存する必要がある。→事務局で一部外注をおこない実施することが必要。 賞金・賞品について要検討（大賞、おかげさま賞など）。 子供の部なども作っても良いかもしれない。夏休みの宿題にすれば環境教育の効果もある。ゆくゆく送迎バスにも導入できれば良い。	選定に必要な日数は、1日。
選定作品のチェック	類似品のチェックが必要になる（商標登録の過程を踏むには、30万円程度）。これも外注が必要。	2週間程度必要。
デザインコンペの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査結果の発表 ・ デザイン実施の広報 ・ デザインラップ作成 ・ 利用者への依頼 等 	審査結果の発表は、広報の意味合いもある。 審査結果の発表は、セレモニーとフォーラムなどとセットで行うことが有効である。 伊勢市の公用車にまずデザインを導入する。おかげさまアクションとしての個々の取組へ導入することについては随時検討する。	結果発表は、10月以降の式年遷宮後に実施。

6 各者の役割分担

	短期	中長期
三重県 伊勢県民センター		<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの普及促進への協力
伊勢市	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの募集の周知、発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの普及
商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの募集の周知、発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの普及
地域事業者(伊勢安土桃山文化村)	<ul style="list-style-type: none"> ● 当施設への来訪者等へのデザインの募集の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ● 当施設への来訪者等へのデザインの普及
地元大学	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの募集の周知、発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの普及
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの募集の周知、発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインの普及、デザインを活用した観光の促進
旅行会社	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光ルート・充電・おもてなしの各WGと連携しつつ、デザイン募集の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種旅行関連媒体への活用(媒体内容は都度検討)
プロモーション会社	<ul style="list-style-type: none"> ● デザイン選考会の選者 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロモーションアドバイス